

第1号 南部箕蚊屋広域連合

まめ・カフェ通信

～第1回まめ・カフェ開催報告～

平成29年5月18日(木) 18:30～20:00

伯耆町岸本保健福祉センター 会議室

参加者 54名(参加者 43名、スタッフ 11名)

(医師、薬剤師、看護師、理学療法士、介護福祉士、
ソーシャルワーカー、介護支援専門員、その他)

【 アンケート結果より 】(回収数:40)

まめ・カフェに参加していかがでしたか？

- | | |
|----------|-----|
| 1.大変良かった | 16名 |
| 2.良かった | 23名 |
| 3.普通 | 1名 |

ミニ講座

「在宅生活における 訪問看護の役割」



ひとつのグループに多職種で座り、飲み物で喉を潤してからテーマに沿っての話や、それ以外の話も…。

日々の業務の中で感じていること、自分の職種について等、いろんな立場から、意見交換を行いました♪

まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる私たちの仕事ってまめでなければつとまらない。「まめなかや?(元気ですか)」と、こまめな声かけが関係づくりの第一歩!…多職種が気軽に集ってまめに話せる場所が欲しい☆という声からできたのが、まめ・カフェです♪

西伯病院 南部町訪問看護ステーション
所長 高田 久美さんに
ミニ講座として「訪問看護の役割」についてお話いただきました☆



講座では、医療保険の領域・介護保険の領域、そして訪問看護サービスのできる等のお話があり、『相談だけでも構いませんので、気になることがあれば訪問看護へ連絡ください』との言葉をいただきました。



《参加者の感想》

- ◎各職種の意見が聞け、顔の見える情報交換ができた。
- ◎普段聞けない他職種の意見、知らなかった視点などにたくさん触れることができ大変有意義でした。
このような場で顔の知れた関係性を進めていくことが、多職種連携につながっていくと思います。
- ◎訪問看護の役割を知ることができてよかった。
小児からガン末期の患者まで幅広く対応されておられたことを知りませんでした。
- ◎訪問歯科の現状等も分かり良かった。精神障がいの方の訪問看護というのも確立している所も初めて知りました。
- ◎それぞれの職種の方から講義についての感想を聞き、各方面からの視点で、患者を捉えることができることを実感した会でした。講義については、とても勉強になり、もっとお話を聞きたいと思いましたので、また機会があれば勉強させて頂きたいです。
- ◎他職種の感じたことを知ることができ、自分では思いつかないような意見が知れたので勉強になりました。
- ◎訪問看護の医療的な部分で知らないことを教えて頂けたことで介護保険と医療との関わり方がわかった。
- ◎カンファレンス等の場では意見を言えないことも話ができよかったです。
- ◎訪問看護を依頼するタイミングがよく分からなかったが、まず相談することが大事だと思った。
- ◎多職種の方と訪問看護の必要性、あり方について話ができよかったです。



【 今後の取り組みについて…ご意見、ご要望等 】

- ◎各職種から順番に講義してもらって意見交換をしてはどうでしょうか。苦労した事例等…
- ◎在宅でその人らしく人生を送る中で、終末期、色んなサービスの利用が考えられますが、その中でも、訪問看護の重要性を感じました。
- ◎グループディスカッションでも出ていた、家族への負担・支援方法、どこまで家族を頼れるか、…また考えていきたいです。
- ◎テストケース、どんな支援、どんなサービスが必要かを多職種で検討してはどうか。
- ◎会で挙げた現状と問題点等が地域包括ケア構築に役立てば…期待しています。

アンケートにご記入いただいた内容の一部をご紹介させていただきました。

ご協力ありがとうございました。今後の会の活動に繋がっていきたいと思います。

次回も、皆さまのご参加をお待ちしております！